

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWO**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4526  
25年2月28日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

## 昔のコメ騒動では 政権が倒れたよね

おはようございます。

米(コメ)の値が高上り、国が備蓄米二十一万トンを出しても下がらない。

そもそも国自身が「コメの値段は自由市場が決めること」と素知らぬ顔だからだ。しかしその市場もコメの品不足で買えないときもあり、「令和のコメ騒動」ともいわれた。昔は主食たるコメ不足のときは、コメ騒動の反乱が起き、政権が倒れたが...

この騒動の前はコメの値段は五キロ、二千元くらいだった。今は四千元と二倍だ。現在は一人が食べるコメの量は普通に一日に二合前後(二合は三〇〇グラム)で、月に九キロほど。四人家族で三六キロとなる。値段で二万九千円だ。



家計収入の中で食費の占める割合をエンゲル係数として習ったが、日本は世界と比べても非常に高い。総務省の数字でいうと、日本は二十八%で、一九

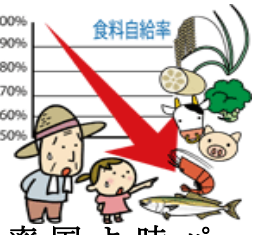
コメ(ごはん)は一食いくらか。一人が一月に五キロ(四千円)食るとして九十食で割ると一食は四十四円となる。仮に二倍の八千円でも八十八円です。「安い」。いまどき「あんパン」一つでも百数十円はする。コメは破格的に安い。(私は月に五キロだ)...



八一年以来、四三年ぶりの高さだという。割合が高いほど貧しい生活で、おまけに実質賃金が下がり続ける「失われた三十年」の本経済の回復の道は、賃上げしかない。

ということは、仮にこの春闘で五千円の賃上げがあったとしても、コメの値上げを考慮すれば赤

字となる数字だ。どの顔して、国や会社は「賃上げを」というのだろうか。

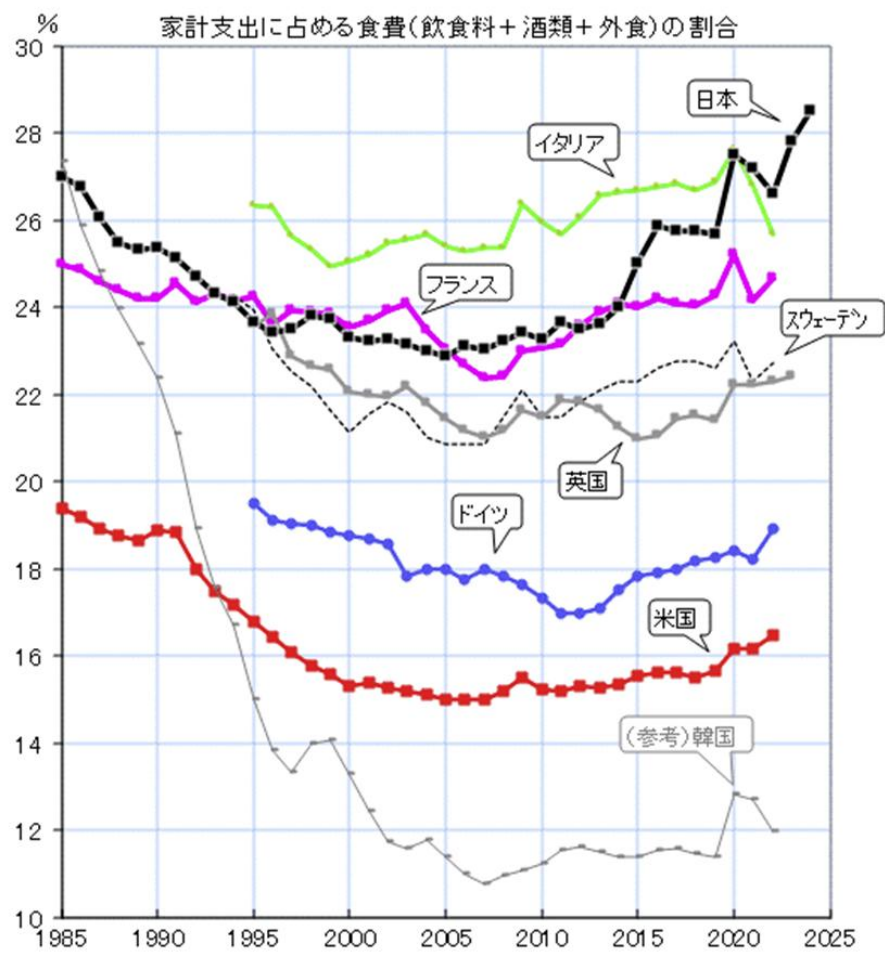


明治のころの童話作家の宮沢賢治は「雨にも負けず」の中で「一日玄米四合と味噌と少しの野菜を食べ...」と書いた。コメが主食の時代だった。いまは副食が重要で、コメの量はあ

「雨にも負けず」の中で「一日玄米四合と味噌と少しの野菜を食べ...」と書いた。コメが主食の時代だった。いまは副食が重要で、コメの量はあ

危機の時代は労組が頼りだ。フジテレビでも会社の危機に、一気に労組加入が何十倍に増えた。郵政でも見習おう。

主要国のエンゲル係数の推移



(注) 日本は家計調査による(二人以上の世帯、2024年は9月までの実績にもとづく見込み)。日本以外はSNA統計による国内家計最終消費支出(帰属家賃を除く)に占める割合。参考にした韓国の数値は酒類・外食を含まない食費が帰属家賃を含んだ消費支出に占める割合。  
(資料) 総務省統計局「家計調査」、OECD Data Explorer(2024.5.30ダウンロード)

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めいせ、均等待遇、なくそう差別！ ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。  
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の  
ホームページはこちら

